2008年4月22日発行(季刊誌)

MOVING

北九州市立男女共同参画センター
ムーブ情報誌 ムービング

vol. 52

特集

女子の理工系進路選択応援プログラム
チャレンジ！理工系～夢をカタチにする～

▶CONTENTS

- 平成19年度 男女共同参画講座
  「女性リーダー 求められるもの」(第3・4回)
- 平成19年度 おとこのライフセミナー
  夢を追う～男の流儀
- (財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)
  からの報告
- 平成20年度 ムーブの事業案内
- 誌上講座第1回「今年はワーク・ライフ・バランス元年」
  瀬地山 角(東京大学准教授)
- 韓国・仁川訪問記
- 男女共同参画推進部からのお知らせ
- レディスもじ・レディスやはたからのお知らせ

女子の理工系進路選択応援プログラム

チャレンジ！理工系～夢をカタチにする～

述べ参加人数
約1,530人!!

ムーブでは、学生の皆さんに理工系分野の面白さをもっと知ってもらうため、平成19年12月～平成20年2月にかけて、理工系進路選択支援事業を開催しました。

■主　催
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
北九州市、内閣府

■後　援
北九州市教育委員会、公立大学法人北九州市立大学
北九州ESD協議会

◆シンポジウム「チャレンジ！理工系～夢をカタチにする～」

日 時　平成20年2月2日(土)13:00～15:00
会 場　北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”2Fホール

＜スケジュール＞
13:00～　北九州工業高等専門学校吹奏楽部演奏
13:30～　パネルディスカッション

吹奏楽の力強い演奏の後、現在理工系分野で活躍される4人のパネリストをお招きしたパネル・ディスカッションでは、理工系分野に進んだきっかけや、理工系の魅力、会場の中学生・高校生の学生の方へ向けたメッセージをお話しいただきました。

パネリスト

ピーター・フランクル 氏（数学者、大道芸人）

(「数学がどうしたら楽しくなるか」という質問に対して)

僕は数学を通して、世の中が自分にとってよくなった。数学は決して九九とか、計算能力とかではなく、数学は物事を論理的に考える、そういう思考能力の分野です。だから、考えることを楽しめるようになるといいと思います。物事には結果があって、過程があります。本当に大切なのは、結果ではなくその過程です。数学や理科、一般的な学習に関しても、結果までのプロセスを楽しむことで、その面白味がわかるのです。

上田（うえだ） 直子（なおこ） 氏（北九州市立大学大学院国際環境工学研究科准教授）

理工系に限らないと思いますが、自分が、何かこれは面白いなと思ったことがあったら、それにはとことん熱中してやるというのが大事だと思います。中途半端にやっていくと、本当の面白さはなかなか見きわめられないんですね。人からは、それはすごく偏ったことだと思われたとしても、人間はどこかで熱中することが私は大事だと思います。

外平（そとひら） 友佳理（ゆかり） 氏（到津の森公園獣医師）

私は動物や自然の魅力を伝えたいと思っていて、それにかかわることの魅力や、自分が与えられる喜びはほんとうに尽きません。ですから、中高生の皆さんがそういう道に、ぜひ進んでいただきたいと思います。今から、人間はひとりよがりでは生きていけない時代なので、絶対自然のことを、動物のことを考えていただきたい。ぜひ、自然をテーマにした方が増えることをお待ちしております。

平松 瞳（ひらまつ ひとみ）氏（早稲田大学大学院情報生産システム研究科修士2年）

今、中学生、高校生の皆さんは、できないかもと不安になって、どちらかというと安心なほうを選んでしまうと思うのですが、そういう消去法で選んで、その道に自分の将来を合わせるようなことはしなくていいと思うんです。制限するのはいつでもできます。でも、広げるのはとても難しいので、ぜひいろいろなことに興味を持って、チャレンジして、自分の視野を広げてください。

コーディネーター

吉崎 邦子（よしざき くにこ）（(財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長、北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”所長）

今日はパネリストの方々が、ご自分の体験に基づいて、いろいろなことをお話しくださいました。会場の皆様も、きっと理工系の魅力に改めてお気づきになったのではないかと思います。また、中高生の皆様はさまざまな可能性をお持ちですので、今日のこのディスカッションを糧に、それぞれの道を歩んで、夢をぜひ形あるものにしていただきたいと思います。

◆ 理工系企業見学会

日 時　平成19年12月26日(水)9:30～15:30

理工系分野に興味のある女子小学生、中学生、高校生とその保護者23名が、トヨタ自動車九州(株)や北九州イノベーションギャラリーを見学しました。トヨタでは女性技術者さんに話をうかがい、イノベーションギャラリーではモノづくり体験「ミニハンマー作り」をしました。

◆ 出前講座「科学っておもしろい―不思議・驚きのサイエンス・ショー」

サイエンスプロデューサーの杉木優子（すぎき まさこ）さんが直接北九州市内の学校を訪れ、科学の魅力に触れ、関心を高めていただくことを目的としたサイエンスショーを開催しました。

板櫃中学校

平成20年2月13日(水)　14:00～15:00

巨大風船を使って空気の運動エネルギーを感じる実験の様子です。体育館に色とりどりの風船が飛び交いました。

本城小学校

平成20年2月14日(木)　14:15～15:15

実験の合間に出される質問に、正解を答えられた人には特製ペーパーブーメランをプレゼント。「この問題、分かる人！」という声と同時に一斉に手が挙がっていました。

篠崎中学校

平成20年2月15日(金)　14:40～15:40

実際に参加者が手をつないで電気を感じる実験(百人おどし)です。実験前に杉木先生の説明を聞いている参加者の表情は皆緊張した様子です。

◆ 理工系女性のチャレンジ事例集の発行

企業、大学、研究機関など理工系の第一線で活躍している先輩19名のメッセージを紹介した、事例集「進メ、理系女子。」を平成20年2月に発行しました。事業全体のチラシにも登場した女子学生(愛称 リカちゃん)が表紙です。

平成19年度男女共同参画講座

「女性リーダー　求められるもの」 第3・4回

毎年様々なテーマを取りあげている男女共同参画講座。今年度は、「女性リーダー　求められるもの」をテーマに様々な分野で活躍している女性リーダーを講師にお迎えし、「自分が考える女性リーダー像」について語っていただきました。前号で第1、2回の報告を行いましたので、今回は第3、4回の講師が参加者へ送ったメッセージをご紹介します。

第3回「多様な個人多様な主体の協働による地域づくりのために」

日　時　　平成20年1月20日(日) 14:00～16:00
会　場　　ムーブ5F大セミナールーム
講　師　　たもつ ゆかり 氏
（オフィスピュア代表・地域づくりプランナー・男女共同参画政策プランナー）

男女共同参画の視点を取り入れたこれからの地域づくりの必要性と、その地域づくりのスタートは、多様な人が集まって語り合いそれまでの意識を変える場を作ることであるということをお話しされました。

男女共同参画の学習を経たリーダーの活躍から、性別による差別のあった慣習を変えた事例を挙げられ、参加者たちに「学習のための学習ではなく、学びを問題解決のための力量としてどのように高めていくかに意識をもって活動を続けてほしい」と呼びかけました。

第4回「看護師が社会を変える－ 富山型デイサービスの14年－ 」

日　時　　平成20年3月15日(土) 14:00～15:30
会　場　　ムーブ2Fホール
講　師　　惣万 佳代子 氏（NPO法人このゆびとーまれ理事長）
後　援　　老いを支える北九州家族の会
福岡県高齢者グループホーム協議会北九州ブロック
社会福祉法人北九州市社会福祉協議会　（順不同）

高齢者も障がい者も一緒にケアするデイサービス「このゆびとーまれ」での活動を紹介され、現在家から出産と死が遠ざかる現状から、身近な死のありがたさを感じる「死にがいのある町づくり」を進めていきたいとお話しされました。

最後に、「私にできるのは小さな積み重ね。日本中自分たち一人ひとりが自分に何ができるかを考え、行動に移すことで、住みやすい日本になると信じている」と参加者へ呼びかけました。

おとこのライフセミナー　夢を追う～男の流儀

日本の高度経済成長を支えてきた団塊世代が退職を迎える現在、男女それぞれが夢、目的を持って自立し、お互いが尊重し合える男女共同参画の関係を築くことが、充実したセカンドライフにつながります。

今回の「おとこのライフセミナー」は、様々な分野で活躍されている男性講師に、ご自分の流儀で夢を追いかける生き方についてお話しいただき、それぞれが歳を重ねても生き生きと過ごしていくためのヒントにしていただくものとして講演会を行いました。

●「三丁目の夕日はほんとうにいつも赤かったか？－ 戦後生活史を振り返ってみる－ 」

日　　時　平成20年2月9日(土) 14:00～16:00
会　　場　ムーブ5F大セミナールーム
講　　師　柴田 翔 氏(作家)
参加者数　122名(内男性53名)

戦後生活史を通して、時代の変化や生活の変化をとらえ、検討していく中から、男性、女性それぞれの生き方、男女共同参画のあり方など、具体的にわかりやすくお話していただき、大変有意義な講演会となりました。

戦前から戦後、現在に至り、物質的な面ではよくなり、男女ともにそれぞれの役割から自由になってきました。しかし、生活を充足させていく可能性を生かしていけるかどうかは個々人の賢さが求められます。男も女も日々の日常的必要を着実に果しながら、自分なりの流儀を探していくことが大切なのではないか、とのご提案をいただきました。

●「私の歩む道　真の国際貢献を目指して」

日　　時　平成20年2月10日(日) 14:00～16:00
会　　場　ムーブ2Fホール
講　　師　中村 哲 氏(ペシャワール会医療サービス総院長)
参加者数　527名(内男性144名)

パキスタンやアフガニスタンで、一歩一歩着実に、地元に根付いた活動を続けてこられた取り組みについてお話していただき、また、命の尊さ、大切さを再確認させられた講演会でした。

井戸や用水路を築き、水を確保していくことが、人々を健康にし、また、自給自足を可能にしていくことにつながり、農業国アフガニスタンを再生することこそ、人々の本当の平和な生活への基礎となります。人の命を大切にすることは世界共有であり、人として共有できる何者かを守るということが国際貢献ではないか、というお話に多くの共感が寄せられました。

第52回国連女性の地位委員会参加報告

国連に集まった各国NGOとの交流

吉崎 邦子

2月22日、12時間の飛行後、雪のJFK空港に無事到着しました。簡単な昼食後、第52回国連女性の地位委員会(CSW)に参加するためパスを申請しに国連本部に出かけ、厳重な荷物検査の後、長い列に2時間半並び、ようやく写真付きのパスを手に入れました。以後、毎朝国連ビルに入るたびに長い列に並ぶことになり、ビルに入ってもお目当ての会議場が満杯で仕方なく別のプログラムに参加することもありました。

NGOパス申請の列

国連を訪れるのは2000年の北京＋ファイブのとき以来です。今回も(財)アジア女性交流・研究フォーラムから1週間派遣され(CSWは2月25日から3月7日まででしたが)、政府間会議を傍聴し、また各国NGOが開催するさまざまなテーマの会議やワークショップに参加しました。

国連敷地内のモニュメント

今回の主要テーマは、「ジェンダーの平等と女性のエンパワーメントのための資金調達」でした。「資金調達」という言葉は、日本女性監視機構(JAWW)によれば、「お金の流れ」ということになります。世界的に見れば、女性はまだまだ国などの公的機関や民間組織の財政の恩恵を男性と同等には享受していないという現実をふまえ、男女共同参画を推進し女性のエンパワーメントのために効果的なお金の流れを検討・実施しようというものです。

私が出席したプログラムの中で、特に印象に残ったものは、やはり初日の開会式です。パン・ギムン事務総長は、「女性に対する暴力は決して容認できるものでも、耐えられるものでもない」と女性に対する暴力廃絶のキャンペーン(2015年まで)を打ち出しました。またレオ・メロレス経済社会理事会議長も、女性に対する暴力は女性の人権を侵す憎むべきものであり、国連のリーダーシップで女性のエンパワーメントを推進することが持続可能な開発に通じると力強く言われたのが印象に残っています。

開会式を別室で傍聴しました

政府間会議とは別に、国連ビルの前のチャーチ・センターでは連日たくさんのNGOプログラムが並行して実施され、私が出席した「少女・女性に対する暴力」「アフリカの母」「ジェンダーと財政」「第5回世界女性会議を実現する」と題するワークショップやパネルディスカッションは、国連本部の会議とはひと味違って聴衆との一体感のある親しみの持てる会合でした。ここで、スーダン、ケニア、タンザニア、中国、タイ、フィリピン、インド、韓国、ネパール、アメリカなどのNGOの女性たちと情報や名刺を交換し、私の中で世界が一気に縮まった感じがした有意義な出会いの時でした。

ムーブの事業案内

●講座の内容は平成20年3月現在の予定ですので、変更の可能性があります。　●詳細はムーブ事業課(TEL.583－3939)までお問い合わせください。

男女共同参画社会の実現を目指す

▼男女共同参画講座

内容●男女共同参画社会の実現に向けて、毎年開催している講座です。その時々の女性・男性に関する問題を取り上げ、第一線で活躍する講師を迎えて考えます。また、「おとこのライフセミナー」も実施します。

▼ムーブの出前講座

内容●セクシュアル・ハラスメント防止研修（テキスト付）をはじめ、企業・学校・地域などへの講師派遣を行っています。
（テキストのみの注文も受け付けています。1冊300円　送料別）

親子で食について学ぶ「父と子の食育講座」も開催します。

キャリアアップを応援

▼パソコン講座

開催時期●年6期開催
定員●各コース　24名
対象●どなたでも
　　市外の方も参加できます
受講料●￥13,000（全8回）
託児●あり（午前・午後講座のみ）
　　（6ヵ月以上就学前まで）
会場●ムーブ 5階 OAルーム

内容●初心者からキャリアアップを目指す方まで、それぞれのレベルにあわせて受講できます。日曜日開設の特別講座(受講料￥4,000)などもあります。

【ワード】【エクセル】基礎／中級／上級
【CS試験対策講座(ワープロ／表計算)】
実用向け講座など
●火曜・水曜・木曜・金曜（週１回計８回）
［午前］10:30～12:30
［午後］14:00～16:00
［夜］　18:30～20:30

●一日講座は毎月開催しています。

▼OAルームの個人利用

日時●毎週水曜・金曜　14:00～16:00
　　毎週土曜日　13:00～18:00
　　（インストラクターが常駐）
受講料●2時間　￥300
託児●あり【土曜日のみ要予約】
　　（1歳6ヵ月以上就学前まで）
会場●ムーブ 5階 OAルーム
内容●ワード・エクセルなどの各アプリケーションソフトやインターネットがご利用いただけます。

★「自立をめざす女性のためのパソコン講座」も開催予定。(選考あり)

▼語学講座 アジアを見よう！ ～中国コース・韓国コース

【中国コース】
日時●毎週金曜日 19:00～20:30
　　全10回（5月9日開講予定）

【韓国コース】
日時●毎週金曜日 19:00～20:30
　　全10回（9月5日開講予定）
定員●15名
受講料●￥12,000
託児●なし
対象●どなたでも
会場●ムーブ 5階 企画ルーム2

内容●初心者対象で、ビジネスや旅行で使用できることを目標として学びます。

▼英会話講座

開催時期●第1期　5月～8月
　　第2期　10月～1月
定員●各コース　12名
対象●どなたでも
受講料●初級￥12,000
　　中級￥15,000
　　上級￥15,000
託児●あり（昼コースのみ）
　　（6ヵ月以上就学前まで）
会場●ムーブ 5階 企画ルーム2

初級	前半30分は文法の基礎を、後半1時間は実際の読み物に触れ、楽しみながら話せる力を養います。英語に自信のない初心者の方にお勧めです。
中級	ハリウッドセレブのインタビューや映画から、セリフを抜粋して、様々な英語に慣れ聞き取ると同時に使えるよう練習します。日常会話からの脱却を目指します。
上級	様々なトピックスについてディスカッションし、その中で重要表現を学びながら語学力を鍛えます。英語が得意な方、ビジネスで必要な方、国際的な視野を持ちたい方などにお勧めです。

▼働く女性のための キャリアアップセミナー

開催時期●秋頃開講予定
対象●働く女性
受講料●無料

内容●女性が責任ある職務を遂行できるよう、スキルアップするための講座です。

▼自己表現セミナー

対象●どなたでも
受講料●無料

内容●職場で、会議で、またプライベートで、効率よく表現していくためのノウハウを身につける講座です。

女性の起業・再就職を応援

▼女性起業家支援塾

開催時期●秋頃開講予定
定員●24名
対象●起業を志す女性で全日程に参加できる方
受講料●￥15,000
託児●あり（6ヵ月以上就学前まで）

内容●起業を志す女性を対象に、実際に起業するために必要な知識と実施計画の立て方を学ぶセミナーです。ビジネス・アイディアの立案から、成功事例の研究、労務財務の基礎知識の学習を経て、事業計画書の作成まで行います。

▼女性起業家相談会

開催時期●冬頃開講予定
定員●12名
対象●これから起業予定、
　　または既に創業している女性
受講料●無料

内容●中小企業診断士や税理士等の専門家が幅広くご相談をお受けします。

▼再就職サポートセミナー

開催時期●秋頃開講予定
対象●再就職を希望する方
受講料●無料

内容●再就職に役立つ基礎知識やビジネスマナーなどを学ぶ講座です。

＜お知らせ＞
就労応援相談を平成20年6月開設予定。再就職など女性の「働く」ことに関する相談をお受けする予定です。

子育てを応援・女性の健康

月曜もあります！

▼いまどきママのリフレッシュ講座

日時●木曜日　10:00～12:30　全6回
開催時期●第1期 5月～7月　第2期 9月～10月
第3期 11月～12月　第4期 1月～2月
定員●18名(抽選)
対象●就学前の子どもを持つ母親
受講料●￥3,000（材料費含）
託児●あり（6ヵ月以上就学前まで）
会場●ムーブ 5階　小セミナールームほか
ムーブ 4階　フィットネスルーム

内容●子育て中の女性を対象に、育児や仕事や家庭で疲れた心と体をリフレッシュするための講座です。前半は、女性を取り巻く様々なことをお母さん同士で話し合うことで不安な気持ちを軽くします。後半は、ピラティスで日頃使わない筋肉を動かして体の中からストレスを解消します。(第1期　5月8日開講予定)

▼マタニティエアロビクス

日時●火曜日　13:00～15:30　全5回
開催時期●第1期 5月～6月　第2期 7月～8月
第3期 11月～12月　第4期 1月～2月
定員●20名（抽選）
対象●妊娠14週以上の健康な妊婦
（医師の同意が必要）
受講料●￥3,000
託児●あり（6ヵ月以上就学前まで）
会場●ムーブ 5階　小セミナールーム
ムーブ 4階　フィットネスルーム

内容●助産師や先輩ママが妊娠・出産に関する疑問や不安にお答えします。お産に役立つ情報交換の後は、マタニティエアロビクスで筋肉・関節をやわらかくし、お産の痛みを軽くします。(第1期　5月13日開講予定)
番外編として両親学級も予定しています。

▼フィットネスルーム個人利用

日時●毎週水曜・金曜日　9:30～21:30
日曜・月曜日　9:30～17:00
インストラクターが常駐
利用料●2時間　￥300
託児●あり（水・金のみ9:30～17:00）
（1歳6ヵ月以上就学前まで）
会場●ムーブ 4階 フィットネスルーム

内容●各種トレーニング機器がそろっています。２時間ごとにストレッチ体操も開催しています。

▼リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

女性の健康をテーマに講演会を行います。
【19年度は「尿失禁・骨盤臓器脱」でした。】
（12月開講予定）

創造活動で自己表現

▼創作工房体験講座

開催時期●おおむね月１回開催
対象●どなたでも。市外の方も参加できます。
受講料●材料費
託児●あり（6ヵ月以上就学前まで）
会場●ムーブ 4階 工芸室・料理室

内容●木工や工芸に気軽にチャレンジできる体験講座です。
木工教室の他、草木染めや手織り講座、シルバーアクセサリー教室もあります。
(第1回　5月7日木工教室「スパイスラック作り」予定)

▼工芸室個人利用

日時●おおむね毎月第2・3・4水曜日　※祝日を除く　9:30～17:00
インストラクター(木工専門)が常駐
受講料●2時間　￥300
託児●あり（1歳6ヵ月以上就学前まで）
会場●ムーブ　4階　工芸室

内容●工芸室にある設備・道具がご利用いただけます。

ムーブ相談室のご案内

①一般相談

相談員が、“こころと生き方”についての相談をお受けします。

【相談時間】
火～日曜　10:00～13:00と16:00～17:00
金曜　13:00～17:00(面接は20:00まで)

※面接相談は予約制

②性別による人権侵害相談

DV、セクシュアル・ハラスメントなどの人権侵害相談をお受けします。

【相談時間】
火～日曜　10:00～13:00と15:00～17:00
金曜　13:00～17:00と18:00～20:00

※面接相談は予約制

③グループ相談

◆第1・3木曜日　14:00～16:00
「どんぐり～ＤＶについて話しませんか？～」

同じような悩みや経験を持つ人の集まりです。お気軽にご参加ください。

④女性の人権に関する法律相談

弁護士が相談に応じます。申し込み受付日に予約してください。

【開催日時】※原則として下記の月3回
第1火曜日　13:00～15:00
第2土曜日　13:00～15:00
第4金曜日　18:00～20:00

【受付方法】申し込み受付日（市政だよりに掲載）の10:00～13:00。各日4名(調整)、無料

⑤法律基礎講座

テーマにそって弁護士がわかりやすく解説した後、参加者の質問に答えます。参加は無料。申込みが必要です。

①一般相談専用電話　093(583)3331
②人権相談専用電話　093(583)3663
③④⑤のお申込み　093(583)3939

「こどもの部屋」のご利用（託児）

利用料
託児料 ￥300
（おやつ代100円含む）

託児をご利用になれるのは…

①ムーブの主催講座の参加者　生後6ヵ月以上就学前まで（講座のお申込みの際に予約）
②一時託児　生後1歳6ヵ月以上就学前まで　（当日、3階の「こどもの部屋」で受付）
- 水・金曜日の9：30～17：00（1日1回2時間まで）
  フィットネスルーム・工芸室の個人利用、図書情報室、交流広場、ＯＡルーム、グループ活動室、市民活動サポートセンターを利用する方
- 土曜日の13:00～17：00（1日1回2時間まで）
  ＯＡルームの個人利用をする方（3日前までに要予約）

平成20年度ジェンダー問題調査・研究支援事業　募集

ムーブでは、北九州市のジェンダー（社会的性別）問題を掘り起こし、自主的に調査・研究する市民グループや研究者（グループ）を募集します。

※この調査・研究によって得られた調査データおよび論文の著作権は当センターに帰属します。

支援対象となる調査・研究

①北九州市のジェンダー問題であること。
②問題解決への提言が含まれていること。
③調査・研究の結果やデータが、今後の北九州市の施策やムーブの事業に反映・活用できるものであること。
④未発表のものであること。

平成20年度調査・研究テーマ　※下記2点からの選択制

①自由課題
「北九州市男女共同参画社会の形成の推進に関する条例」（平成14年4月施行）の基本理念に関連するもので、これに基づいた自由な研究課題を設定してください。

「北九州市男女共同参画社会の形成の推進に関する条例」の基本理念（6項目）
1.男女の人権の尊重　2.社会における制度又は慣行についての配慮
3.政策等の立案及び決定への共同参画
4.家庭生活における活動と他の活動の両立
5.互いの身体的特徴及び性に関する理解並びに性に関する個人の意思の尊重
6.国際的な相互協力

②「北九州市における女性のチャレンジ支援について」
北九州市において必要とされている「女性のチャレンジ支援」や、地域の実情や特性に応じた「女性のチャレンジ支援」のあり方など、具体的な支援策につながる調査・研究課題を設定してください。

応募資格

■市民グループ
①北九州市に在住・在学・在勤の3名以上で構成されたグループ。
②組織の運営に関する規則等（規約・会則等）があり、会員名簿を備えていること。
③研究テーマの設定から調査、執筆、報告までの作業を、グループで自主的にできること。

■研究者または研究者グループ
①全国の研究者個人、または研究者グループ。（研究機関等への所属の有無は問わない。）
②応募後、ヒアリングなどのためにムーブに来所できる方。
③調査・研究のテーマは未発表のものであること。

※共通要件
①2009年7月に実施予定のジェンダー問題調査・研究公開報告会で発表できること。
②特定の宗教または政治活動にかかわるものや営利を目的とした活動内容（のグループ）ではないこと。
③これまでに本助成を受けていないこと。

支援内容

①実施に関する費用の一部を補助する。（補助金の対象となる経費。上限30万円）
②調査・研究に関する指導を行う。（基本的には市民グループのみ）
③資料作成やミーティング等の場として、ムーブ内施設を提供する。
④調査結果の集計にあたり、集計ソフト・PCを貸し出す。

募集期間

平成20年4月1日（火）～5月31日（土）

応募方法

申込書に必要事項をご記入のうえ、ご提出ください。
申込書はムーブにあります。
※ムーブのHPからもダウンロードできます。

選考

両グループ合わせて支援先は1組。北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”において選考委員会を設置し、書類審査およびプレゼンテーション審査の上、決定します。

お問い合わせ・応募先

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”情報課
〒803-0814　北九州市小倉北区大手町11－4
TEL／FAX（093）583－5082
http://www.kitakyu-move.jp
E-mail　move@move-kitakyu.jp

『ムーブ叢書ジェンダー白書6　女性と健康』発売!!

『ムーブ叢書　ジェンダー白書6』は、第4回世界女性会議で採択された行動綱領の重大課題領域の一つである「女性と健康」をテーマとし、WHO憲章、カイロ会議行動計画、および北京行動綱領における「健康」の定義を踏まえ、内閣府の「男女共同参画基本計画（第2次）」の「生涯を通じた女性の健康支援」に明記された「女性の人権」の一つとしての「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」およびジェンダーの視点から編集しています。

また、「健康とは、身体的、精神的及び社会的に安寧な状態であり、単に病気や病弱でないことではない。女性の健康は感情的、社会的及び身体的安寧を含み、生物学のみならず、女性の生活の社会的、政治的及び経済的状況によって決定される」（「北京行動綱領」パラグラフ89）ことを踏まえ、グローバリゼーション、移住労働の広がり、高度情報化（メディア社会）、少子高齢社会、女性・子どもに対する暴力（DV）、不妊治療、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、「男」の病などの面から、「健康」の意味を問い直しています。

北九州市立男女共同参画センター
ムーブ編
明石書店刊　A5判　204頁
定価2,100円（税込）

◆　お求めは、“ムーブ”1階図書・情報室、またはお近くの書店で　◆
※“ムーブ”窓口へご注文・お申し込みの場合、割引価格1,800円でお買い求めいただけます。（送料別途必要）

◆ 誌上講座 ◆ 第1回

テーマ
ワーク・ライフ・バランス

profile
瀬地山（せちやま） 角（かく） 東京大学大学院総合文化研究科

1963年生まれ、奈良県出身。
東京大学教養学部卒業、同大学院博士課程修了、学術博士。
韓国ソウル大学留学、北海道大学文学部助手を経て1994年より東京大学准教授。専門はジェンダー論。
著書に『東アジアの家父長制』、『お笑いジェンダー論』（いずれも勁草書房）など。

今年はワーク・ライフ・バランス元年

最近急に、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を聞くようになった。どういう背景があるのだろうか？なぜワーク・ライフ・バランスを目指さなければいけないのだろうか？ワーク・ライフ・バランスを実現すると、企業は儲かるのだろうか？ 4回の誌上講座では、そういった問いに答えていきたい。初回はまず、この言葉の政策的背景である。

現在内閣府の共生社会政策統括官のもとに、「仕事と生活の調和推進室」という部局があり、これが国のワーク・ライフ・バランス政策の元締めとなっている。これが開設されたのは今年の１月のことだが、ワーク・ライフ・バランス政策には、前史とでも呼べるものがある。今回は話をそこから始めることとしよう。

背景となる前史とは、少子化対策のことだ。これはいうまでもなく1990年の「1.57ショック」から始まる。1989年の合計特殊出生率がひのえうまで出生が少なかった1966年を下回ったことが、政府財界を巻き込んで大きな話題となったのである。

これを受けて政府は94年に「エンゼルプラン」(1995～1999)を発表する。「家庭における子育てを基本とする」と唱いながらも、子育てと仕事の両立支援の推進をすすめることになった。また併せて「緊急保育対策等5ヵ年事業」が策定されており、0～2歳児の保育所の整備などがすすめられる。さらにこの5年の間に、育児休業給付の実施(1995)、週40時間労働制(1997)などが制度化され、男女共同参画社会基本法も制定されている(1999)。

しかしこれらは少子化対策としては効果を見せず、95年から99年の間に出生率は1.42から1.34へと下がり続けた。それを受けて2000年から2004年の「新エンゼルプラン」が発表・実施される。従来からの保育施設充実の方針のほかに、ここでは男女共同参画の観点から、固定的な性別役割分業を問題視する視点も加わるようになった。

さらに2001年に「待機児童ゼロ作戦」、2002年に「少子化対策プラスワン」が発表される。後者において初めて狭義の子育て支援から、「男性を含めた働き方の見直し」という視点が加わるようになり、現在のワーク・ライフ・バランスにつながる視角が登場する。ほかに2003年に次世代育成支援対策推進法ができて、301人以上の事業所に仕事と家庭の両立に関する雇用環境の整備について、行動計画の策定が義務づけられるようになり、同年には少子化社会対策基本法も制定されている。

政策を羅列して述べたので、つまらないと思われたことだろう。興味深い点は二つ。一つ目は、これだけ政策を打ち出しても、出生率はまったく上向く気配を見せず、2000年に1.36と前年よりわずかに持ち直したものの、2005年には1.25にまで落ち込んだという事実である。一連の政策は連戦連敗だった。

そして二つ目に、ワーク・ライフ・バランスが、いわばそうした連戦連敗の結果として、「子育て支援」というキーワードの行き詰まりから生まれてきた標語だという点である。つまり政府は、90年代前半に少子化に直面して、女性が子育てをしやすいように(しかも最初は家庭で)、という観点から政策をスタートさせ、2000年代になって、男性の働き方を見直す、というところまでたどり着いたということになる。

2007年7月に内閣府の主導で「仕事と生活の調和推進官民トップ会議」が開かれ、12月には「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が制定される。共働きが増える中で、従来の性別役割分業では問題を解決できないこと、長時間労働に苦しむ人がいる一方で、正社員になれずに貧困にあえぐ人がいるという二極化が起きていること、などが指摘され、その解決のために、生活と調和のとれた働き方が提唱されるようになった。

労働者の二極化の問題が含まれるようになったという点で、従来からの少子化対策の文脈からみると、新しい要素が加わっており、単なる少子化対策を越えた新たな政策課題だということになろう。

冒頭に述べたように、今年内閣府に担当部局が新設され、政府では2008年をワーク・ライフ・バランス元年として、政策を推進する方針を明らかにしている。ワーク・ライフ・バランスとは「子育て支援」からスタートしながら、働く人すべての働き方へ、女の問題から男女の問題へ、と着眼点が推移した、現在の政府の重点政策なのである。

★ ムーブネット 新規登録受け付け中！

新規の団体・グループ、および個人のご登録を、随時受け付けています。

ムーブでは、男女が共に参画して社会活動を行っていくための仲間作りやネットワークづくりに役立つ団体・グループの情報を収集し、市民の皆様への橋渡しをしています。ムーブネットの団体・グループ情報は、ムーブのホームページから検索できます。(HP上での公表を希望される団体・グループのみ)

また、男女共同参画社会づくりをさまざまな面から支援してくださる個人に登録していただき、当センターの講演会講師の選考や、北九州市の審議会等委員の選任などの資料として活用しています。

※ムーブでは、個人情報保護規程に則り、個人情報の適正な取扱を行っています。当センターにおいて、一般の方より登録情報を知りたいとの申請があった場合は、利用目的を確認し、登録者の承諾を得た上で、情報を提供します。

●お問合せ先
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”情報課
TEL/FAX(093)583-5082　E-mail　move@move-kitakyu.jp

★ グループ活動室の利用団体募集！

ムーブでは、男女共同参画社会に関する活動を行うグループは、グループ活動室を無料でご利用いただけます。
※講師謝礼を必要とする定例的な学習会、公開の講座・講演会・セミナーなどには利用できません。

■ 利用条件
①ムーブの情報システム「ムーブネット」に登録していること
②ムーブが指定する講座(ムーブフェスタ、男女共同参画講座など)に3回以上参加すること(次年度の利用承認条件)

■ グループ活動室の概要
活動室1(定員20名)、活動室2(定員20名)、活動室3(定員11名)の3部屋。各部屋にホワイトボードなどがあります。

■ 申込方法
北九州市立男女共同参画センター「グループ活動室等」利用申請書(ムーブ3階にあります。)を提出してください。

■ その他
連絡箱(無料)、グループロッカー(500円／月)のご利用もできます。

●グループ活動室に関するお問い合わせは
093-583-3939まで

★ ムーブからのお知らせ！

ご来館の皆さまのご要望により次のような改善を行いました。今後ともご意見・ご要望をお待ちしております。
・交流ひろばの照明を明るくしました。
・洋式トイレを増設しました。(2階・5階女性用)
・駐車料金の身障者割引の手続きが、1F図書・情報室、防災センターでもできるようにしました。

●ムーブに関するご意見・ご要望は
093-583-3939まで

★ 韓国・仁川訪問記！

(財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長・
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”所長　吉崎 邦子
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”事業課長　西山 陽子
(財)アジア女性交流・研究フォーラム国際交流課長　原田 多賀志

2008年3月10日(月)から12日(水)までの3日間、北九州市の姉妹都市、韓国・仁川市を訪問しました。今回の訪問目的は、男女共同参画社会の実現に向けて、ムーブ・(財)アジア女性交流・研究フォーラム共に海外の女性センターや研究機関との交流を深め、拠点を築く足がかりをつくるためです。

仁川女性文化会館の前で
仁川YWCAの皆さんと

まずムーブと同様、さまざまな講座を実施している「仁川女性の広場」や「仁川女性文化会館」、そしてこれらを運営している仁川市女性保健福祉局と仁川YWCAを視察・訪問しました。また、DVなどの電話相談や被害女性の一時保護や自立支援を行う「仁川女性の電話」にも訪問し、有意義な情報交換を行いました。続いて、仁川市における女性政策を策定する研究機関である「仁川女性政策センター」で、仁川あるいは韓国の女性問題について、日本の状況を紹介しながら意見交換し、今後のさらなる交流、あるいは共同研究の可能性について話し合いました。さらに、滞在期間中2回しかなかった夕食でも、仁川市の女性団体との貴重な意見交換を行うことができました。

仁川市女性保健福祉局
金 辰姫 局長と吉崎理事長

3日間という短期間の訪問でしたが、天候にも恵まれ、当初の目的は十分に果たせたと安心しています。

最後に、今回お世話になった日韓双方の皆様にお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

男女共同参画推進部からのお知らせ

次期「北九州市男女共同参画基本計画」策定のための答申が提出されました

平成20年2月4日、本市は北九州市男女共同参画審議会より「北九州市男女共同参画基本計画の策定(改定)に当たっての基本的事項」についての答申を受けました。この中で本市の男女共同参画の現状と課題について下記のとおり示され、また計画推進のためには各施策にできる限り数値目標を設定することなどが提言されました。

今後、市はこの答申の内容を踏まえ、今秋頃に計画素案を作成し、パブリックコメントを経て、平成21年3月頃に基本計画を策定する予定です。

本市の男女共同参画の現状と課題(主なもの)

●性別による固定的役割分担意識が依然として根強い
「夫は外で働き、妻は家庭を守る」に賛成する人の割合が、ここ5年間ほとんど変化していない。
【本市:57.5%(5年前57.7%)　国:45.2%】

●政策・方針決定過程への女性の参画が不十分である。
女性市議会議員の比率が低く、17政令市中最下位である。
【政令市女性市議会議員比率　本市:10.9%
トップは川崎市:25.4%】

答申書の詳細については、北九州市ホームページ(http://www.city.kitakyushu.jp　組織→子ども家庭局→男女共同参画推進部→北九州市男女共同参画審議会)をご覧ください。

芳賀美子会長から北橋市長へ答申書を提出

レディスもじ からのお知らせ

就職支援事業

◆調理師試験対策講座

調理師の資格取得を目指している人、または知識を必要としている人。
※調理師の試験には、受験資格が必要です。詳細はお問い合わせください。

日　時　平成20年5月18日～7月13日(日)
1~5・9回10:00~12:00　6~8回10:00~15:00(休憩1時間)
講　師　吉積 秀子 氏(管理栄養士)
対　象　北九州市内在住または在勤の方(学生は除く)
定　員　先着20人
受講料　無料
教材費　3,300円
申込み　4月3日(木)午前9時から電話または来館で受付けます。

◆ワード・エクセル基礎講座

日　時　平成20年6月11日～7日30(水・金) 18:30～20:30 全15回
対　象　北九州市内在住または在勤の方(学生は除く)
定　員　14名(調整)
受講料　無料
教材費　2,200円
託　児　あり(1歳以上就学前まで)申込時にご相談下さい。
申込み　往復はがきに、「ワード・エクセル夜コース」・応募動機・住所・氏名・年齢・電話番号を書いてお送りください。
締　切　5月27日(火)必着です。

北九州市立東部勤労婦人センター“レディスもじ”
〒800-0051　北九州市門司区下馬寄6番8号
TEL 093-371-4649　FAX 093-371-4268
http://www.k-palace.com/moji/

レディスやはた からのお知らせ

開館31周年記念講演会

◆夢をあきらめない ～料理研究家になるまで～

家庭料理研究家(ナマクラ流ズボラ派)奥園壽子氏を招いての講演会。
社会・家庭生活・男女共同参画・子育てなどの様々な観点からの講演です。

日　時　平成20年5月24日(土)14:00～15:30 (開場13:00)
講　師　料理研究家 奥薗 壽子 氏
対　象　北九州市内在住または在勤の方
定　員　250名(先着順)
受講料　無料
託　児　あり(1歳以上就学前まで)申込時にご相談下さい。
申込み　4月17日(木)午前9時から電話または来館で受付けます。

男女共同参画支援事業

◆子育て支援講座「子育てセラピー」

子育て中の家族が、心から癒される時間と空間をつくり、子育て中のゆうつ、イライラ気分と上手に付き合う方法を学びます。

日　時　平成20年5月15日・22日・29日(木) 10:00～12:00 全3回
講　師　米国CTI認定コーアクティブコーチ　本山 晴子 氏
日本メンタルヘルス協会公認心理カウンセラー　松井 美由紀 氏
対　象　北九州市内在住または在勤の方
定　員　20名(先着順)
受講料　無料・教材費500円
託　児　あり(1歳以上就学前まで)申込時にご相談下さい。
申込み　4月18日(金)午前9時から電話または来館で受付けます。

北九州市立西部勤労婦人センター“レディスやはた”
〒805-0059　北九州市八幡東区尾倉二丁目6番6号
TEL 093-661-1122　FAX 093-661-2714
http://www.k-palace.com/yahata/

MOVING ムービング 2008年4月22日発行（季刊誌） vol.52

ムーブ利用のご案内 information

HOTする街…北九州

開所時間 9:30〜21:30　休業日 所内整理日及び年末年始（12月29日から1月3日）下記参照

◆施設の貸室については、所内整理日及び年始年末を除く毎日、利用できます。
◆事業（主催事業・個人利用等）・情報課（図書室等）及び相談業務は毎週日曜日17時以降及び毎週月曜日並びに祝日（月曜日が祝日の場合は翌火曜日も）は休務します。

所内整理日（4月〜9月）4月24日／5月29日／6月12日・26日／7月31日／8月14日・28日／9月25日

貸室	施設名			面積（m²）	定員（人）	使用料 9:30〜12:00	12:00〜13:00	13:00〜17:00	17:00〜18:00	18:00〜21:30	備考
5F	大セミナールーム			276	165	4,100	1,650	6,600	1,971	6,900	机55、椅子165
5F	小セミナールーム			135	60	2,800	1,125	4,500	1,342	4,700	机30、椅子60
5F	企画ルーム1			45	20	900	375	1,500	457	1,600	机11、椅子20
5F	企画ルーム2			33	18	800	300	1,200	371	1,300	机6、椅子18
4F	料理室			62	24	1,900	750	3,000	885	3,100	調理台5台(講師用1台含む)、基本調理器具一式
4F	工芸室			63	24	1,500	600	2,400	714	2,500	作業台4台、被服机2台、電動工具等
4F	和室(24畳)			69	36	1,300	500	2,000	600	2,100	基本茶道具一式(電気炉あり)
4F	茶室(立礼形式)			37	10	1,000	400	1,600	485	1,700	基本茶道具一式(電気炉あり)
4F	フィットネスルーム			226	30	3,000	1,200	4,800	1,457	5,100	各種トレーニング機器
3F	こどもの部屋			74	15	無料	無料	無料	無料	無料	予約制、貸出には託児者が必要
2F	ホール	A	平日	647	520	10,500	4,175	16,700	5,028	17,600	入場料又はこれに類するもの(以下「入場料」という)の最高額が、1人1回につき1,000円以下のとき
2F	ホール	A	土日祝	647	520	12,600	5,025	20,100	6,028	21,100	
2F	ホール	B	平日	647	520	15,700	6,275	25,100	7,542	26,400	入場料等の最高額が、1人1回につき1,000円を超え3,000円以下のとき
2F	ホール	B	土日祝	647	520	18,800	7,525	30,100	9,028	31,600	
2F	ホール	C	平日	647	520	20,900	8,375	33,500	10,057	35,200	入場料等の最高額が、1人1回につき3,000円を超えるとき
2F	ホール	C	土日祝	647	520	25,100	10,050	40,200	12,057	42,200	
1F	市民ギャラリー			47	—	無料	無料	無料	無料	無料	常駐監視役が1名必要
1F	交流広場			403	200	6,300	2,525	10,100	3,028	10,600	

※付属設備を使用する場合は、別途設備使用料が必要となります。　※使用料の額に100円未満の端数があるときは、その端数は切り捨てるものとします。

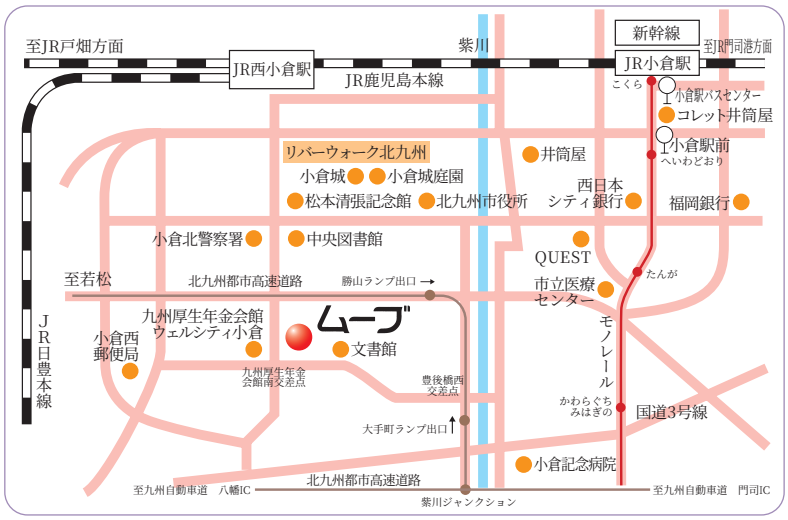
★ 施設の利用に関するお問い合わせは 093-583-3939 まで ★

編集後記

今回52号の特集は、内閣府の支援を受け実施した、「チャレンジ！理工系〜夢をカタチにする〜」を4部門に分けて報告しています。『進メ、理系女子。〈理工系女性のチャレンジ事例集〉』も発行し、理工系への進路選択を応援しています。館内で無料配布中です。

平成20年度の「ムービング」も、より一層の充実を図り、北九州市をはじめ内外の男女共同参画の情報を発信したいと思います。

1階の交流広場も明るくなり、皆様のご来館をお待ちしております。



北九州市立
男女共同参画センター
ムーブ

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL.093-583-3939　FAX.093-583-5107

ホームページアドレス ◆ http://www.kitakyu-move.jp
E-mail ◆ move@move-kitakyu.jp

アクセス
- JR西小倉駅より徒歩　約15分
- 西鉄バス→「九州厚生年金会館・ムーブ前」下車
  小倉駅バスセンター 小倉都心100円周遊バス
  27 45
  110 134 138
  小倉駅前 75 76
- 北九州都市高速　勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分

★定期読者の募集★

MOVINGの定期読者になりませんか？
ご希望の方は、封筒に送付先（住所・氏名・電話番号）と、郵送料1年分（120円切手×4回）を同封し、北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”情報課までお送りください。

★社会保険庁からのお知らせ★

年金記録の確認をお願いします
「結婚して名字が変わったことのある方」は年金加入記録がもれやすいケース。
確認はご自宅からでもできますので、まずは、社会保険事務所にご照会ください。

PRINTED WITH SOYINK
この冊子は再生紙及び環境に優しい大豆インクを使用しています。

発行：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 TEL(093)583-3939 FAX(093)583-5107
制作・印刷：株式会社 朝日広告社　表紙イラスト：内田万寿美